

保証書

持込修理

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

コーヒーミル	品番 YCM-G30H1
★お客様お名前 様	
★ご住所 〒	★電話番号 () -
保証期間 ★お買上げ日 年 月 日から 本体…………… 1年間	★取扱販売店名, 住所, 電話番号

★印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

お買上げの日から上記保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買上げの販売店が無料修理いたしますので、商品と本保証書をご持参ご提示のうえ、お買上げの販売店にご依頼ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - イ. 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - ロ. お買上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
 - ハ. 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
 - ニ. 業務用としての使用、車両・船舶への搭載等一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
 - ホ. 本書の提示がない場合。
 - ヘ. 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - ト. 消耗部品の交換 } 等
仕様変更
- 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や、出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
- ご転居の場合は事前にお買上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品等で本書に記入してあるお買上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、下記の「お客様相談室」にお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 Effective only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

●修理メモ

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、14ページの「修理サービスについて」の項をご覧ください。

株式会社ヤマダホールディングス

【お客様相談室】 TEL 0120-258-260 (無料)

〒370-0841 群馬県高崎市栄町1番1号

受付時間：午前10時～午後9時（元日のみ休日）

取扱説明書

コーヒーミル

品番 YCM-G30H1

一般家庭用
(業務用としては使用しないでください)

保証書付 (裏表紙)

お買上げまことにありがとうございます。

- この「取扱説明書(保証書付)」をよくお読みの方へ正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。特に1～5ページの「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この商品を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。
This appliance is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any other country.



もくじ



ページ

安全上のご注意	1～5
使用上のご注意	6
各部のなまえ	7
使いかた	8～9
お手入れのしかた	10～11
故障かな?と思ったら	12
愛情点検	13
仕様	13
修理サービスについて	14
保証書	裏表紙

取扱説明書(保証書付)・本体には商品の色記号の表示を省略しています。包装箱に表示している品番の()内の記号が色記号です。

ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。その表示と意味は、次のようになっています。






●この表示を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる内容を、2つに区分しています。

 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
 注意	人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。







●本文中の絵表示の意味です。

 禁止	○は、してはいけません。「禁止」の内容です。	 一般的な禁止	 接触禁止	 分解禁止
 強制	●は、必ず実行してください。「強制」の内容です。	 水ぬれ禁止	 ぬれ手禁止	 電源プラグを抜く







警告

 電源コードや電源プラグは乱暴に取り扱わない 電源コードまたは、電源プラグを傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、熱する、引っ張る、重いものをのせる、束ねて使用する、などをしない。 感電・ショートによる発火の原因となります。修理はお買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にご相談ください。	 子供や不慣れなただけで使用させたり、子供の手の届くところで使用しない、保管しない 感電・やけど・けがの原因となります。
 運転中やカッターが完全に停止するまでは豆容器の中に、手・スプーン・はし・ブラシなどの異物を入れない ●豆容器の中にコーヒー豆以外の異物を入れて運転しない けがの原因となります。	 電源コードや電源プラグが傷ついたり、コンセントのさし込みがゆるいときは使用しない 感電・ショート・発火の原因となります。
	 開口部やすき間にピンや針金などの金属物、異物を入れない 感電・けが・故障・破損の原因となります。







警告

 運転中やカッターが完全に停止するまではフタを取り外さない コーヒー粉がこぼれたり、けが・故障の原因となります。	 カッターを露出したまま運転しない ●回転中のカッターは危険なので絶対に触れない。 けがの原因となります。
 スイッチを指や棒などで押さない けが・故障の原因となります。	 カッターは鋭利なため、直接手を触れない 接触禁止 コーヒー豆／コーヒー粉の出し入れ、お手入れ、保管するときは、特にご注意ください。
 絶対に改造、分解をしない 改造はしない。また、修理技術者以外の方は、分解したり修理をしない。 火災・感電・けがの原因となります。修理はお買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にご相談ください。	 本体やフタを水につけたり、水をかけたり、丸洗いをしない 水ぬれ禁止 感電・ショート・発火・故障の原因となります。
 豆容器の内部に、水を入れて洗わない 水ぬれ禁止 感電・ショート・発火・故障の原因となります。	 異常・故障時には、ただちに使用を中止する 使用を続けると、発煙・発火・火災・感電・けがのおそれがあります。 <異常・故障例> ●本体が変形したり、異常に熱い。 ●電源コードや電源プラグが変形・変色・損傷している。 ●電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い。 ●電源プラグや電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。 ●異常なおい・音・振動がする。 ●ビリビリと電気を感じる。 ※お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」に点検、修理を依頼してください。
 ぬれた手で電源プラグを抜きささない ぬれ手禁止 ショート・感電・けがの原因となります。	
 電源は交流100Vのコンセントを単独で使用する 他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して、発火・火災・感電の原因となります。	









警告

 <p>電源プラグはコンセントの根元までしっかりさし込む さし込みが不完全な場合、発煙・発火・火災・感電・ショートの原因となります。</p>	 <p>電源プラグは清潔にする 電源プラグの刃および刃の取付面にホコリが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。発煙・発火・火災の原因となります。</p>
 <p>本製品は必ず屋内で使用する 本製品は屋内用です。屋外でお使いになると故障・破損・けがの原因となります。</p>	 <p>包装用のポリ袋はお子様の手の届かない場所に保管する 誤って顔にかぶったり、巻きついたりして窒息し、死亡の原因となります。</p>
 <p>電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、電源プラグを持ってまっすぐ引き抜く 感電・ショート・発火・火災の原因となります。</p>	 <p>フタの取り付けや取り外し、お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く 不意に動作してけがをしたり、感電・発火・火災・故障の原因となります。</p>

注意

 <p>業務用として使用しない 本製品は家庭用として設計・製造されています。業務用としての使用は、絶対しないでください。</p>	 <p>電源コードを本体に巻きつけた状態で使用しない 電源コードが破損して火災・感電の原因となります。</p>
 <p>運転中に本体を持ち運んだりしない けが・故障の原因となります。</p>	 <p>電源コードを持って本体を引きずらない 故障・事故の原因となります。</p>
 <p>30gより多いコーヒー豆を入れて使わない 破損して、けがの原因となります。</p>	 <p>40℃以上の熱いコーヒー豆を容器に入れない 変形・破損の原因となります。</p>



注意

 <p>お手入れにはシンナー・ベンジン・みがき粉・たわし・化学ぞうきん類は使用しない 製品の変質や劣化による故障・破損・けが・事故の原因となる場合があります。 お手入れはぬるま湯か台所用中性洗剤などを使用してください。 ※洗剤の種類によっては、台所用中性洗剤でもプラスチック(樹脂)に使用できないものがありますので、洗剤の注意書きをよくご確認ください。プラスチック(樹脂)に使用可能な洗剤でも、洗剤分が残っていると、化学作用によりプラスチック(樹脂)を侵し、破損してけが・事故の原因となる場合がありますので、お手入れ後洗剤分が残らないようしっかりと拭きとってください。</p>	 <p>次のような場所では使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 雨や水しぶきのかかるところ ● 火気の近く ● 灯油・ガソリン・シンナー・ベンジン・塗料などの引火性のものがあるところ ● 油・油煙が発生するところ ● ホコリや金属片の多いところ ● 高温(40℃以上)になるところ ● 直射日光など、強い紫外線のあたる場所 <p>感電・ショート・火災のおそれがあります。また、事故・故障の原因となります。</p>
 <p>倒したり、落としたりぶついたり、強い衝撃を加えない 感電・けが・故障の原因となります。</p>	 <p>豆容器に水(液体)や水分を含んだ食材を入れない 感電・故障の原因となります。</p>
 <p>使用中は、本体から離れない 必ず、本体のそばにいて様子を見ながら使用してください。</p>	 <p>コーヒー豆以外のものまた、湿った豆や生豆を挽かない 故障の原因となります。</p>
 <p>カーペット・紙・おぼんなど、不安定な場所で使わない けがの原因となります。</p>	 <p>使用後は、必ずお手入れをする 雑菌が繁殖したり、材料がかたまってもって使えなくなるおそれがあります。</p>

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠ 注意

<p>! 電源コードが破損した場合には、危険が生じないようにするために、お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にご相談ください。</p>	<p>! フタは確実に取り付け、本体を手で支えて運転する けが・故障の原因となります。 ※必ずコーヒー豆を入れ、フタを確実に取り付けて運転してください。</p>
<p>! 連続運転は1分以内にし、合計1分間連続で使用したら、2分以上休ませる 運転／停止を5回くり返した場合は、30分以上休ませる 故障の原因となります。</p>	<p>! カッターが完全に停止したことを確認してから電源プラグを抜きさしする けが・故障の原因となります。</p>
<p>! コーヒー豆が多すぎたり、その他の原因でカッターの回転が遅かったり、停止したときはすぐに運転を中止する けが・事故・故障の原因となります。</p>	<p> 電源プラグを抜く ! 移動するときは、電源プラグを抜き、必ず本体を持って移動する 部品が外れて、けが・故障の原因となります。</p>
<p>! 本体・フタを電子レンジ・オープン・食器乾燥器などの高温になるものに入れない けが・故障・変形・破損の原因となります。</p>	<p> 電源プラグを抜く ! 使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因となります。</p>

使用上のご注意

必ずお守りください。

本製品はコーヒー豆専用です

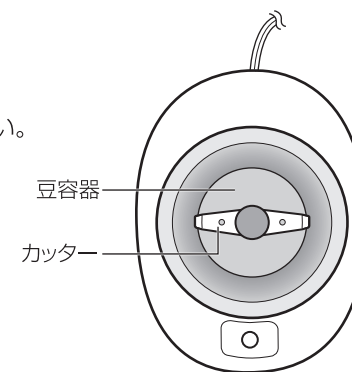
- 他の食材などは調理しないでください。モーターに負担がかかり、故障の原因となります。
- コーヒー豆を挽くときは、必ず様子を見ながら運転し、カッターの回転が遅かったり、異音などがする場合は運転をただちに中止してください。

ご注意

- コーヒー豆は、皮がはじけるまでよく炒るか、焙煎済みの豆を使用してください。
- 水（液体）や水分を含んだ食材を豆容器に入れないでください。感電・故障の原因となります。
- 空運転や極端に少ないコーヒー豆で運転しないでください。故障の原因となります。
- 30gより多いコーヒー豆を入れて使わないでください。破損の原因となります。
- 40℃以上の熱いコーヒー豆を入れないでください。変形・破損の原因となります。

カッターについて

- カッターは取り外しできません。
- カッターは鋭利なため直接触れないでください。



各部のなまえ

運転ボタン

押し続けている間だけ運転します。
※フタが正しく取り付けられていない場合、運転できません。

フタ

豆容器

コーヒー豆を入れます。
※豆容器の最大容量は、30gです。

カッター

手を切らないように
ご注意ください。

スイッチ

※指や棒などで
押さないで
ください。

本体

電源コード

電源プラグ

交流100Vのコンセントをご
使用ください。
使用後は、必ず電源プラグを
コンセントから抜いてください。

お手入れ用ブラシ(付属品)

使いかた

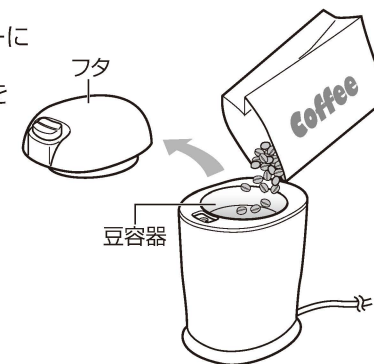
9ページへつづく

ご注意

- はじめてお使いになるときや長時間使用しなかったときは、お手入れを行ってからお使いください。(P.10ページ参照)
- カッターは、直接手で触れないでください。
- 連続運転は1分以内にし、くり返し使用するときは2分以上間隔をあけてご使用ください。
- 運転/停止を5回くり返した場合は、30分以上休ませてください。

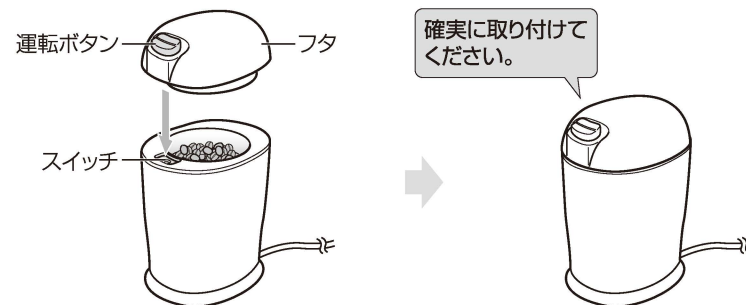
1 フタを取り外し、コーヒー豆を豆容器に入れる

- 30g以下のコーヒー豆を入れてください。
※本体は不安定なところに置かないでください。
※コーヒー豆を豆容器に入れるときは、カッターに直接手で触れないようご注意ください。
※コーヒー豆以外のものまた、湿った豆や生豆を入れないでください。



2 フタを取り付ける

- 運転ボタンとスイッチの位置を合わせて、確実に取り付けます。
※フタが確実に取り付けられていないと、運転ボタンを押しても運転しません。

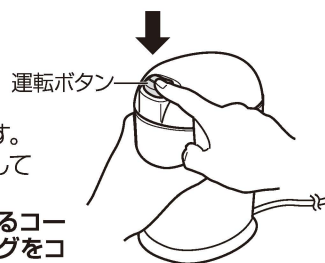


3 電源プラグをコンセントの奥まで確実にさし込む

4 本体を手でしっかり押さえながら、 運転ボタンを押す

- カッターが回転し、運転を開始します。
- 運転ボタンを押している間だけコーヒー豆を挽きます。
- 挽き加減を確認しながら、断続的に運転ボタンを押してください。

※豆容器内のコーヒー豆を減らしたり、引っかかっているコーヒー豆やコーヒー粉を取り除くときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、行ってください。



⚠ 注意

- 1分以上の連続運転はしないでください。
(合計1分間連続で使用したら、2分以上休ませてください)
- 運転/停止を5回くり返した場合は、30分以上休ませてください。



ワンポイント

運転時間は、コーヒー豆の量や状態などで異なります。

- 焙煎済みのコーヒー豆をご使用ください。
- ドリップの直前に挽くと、香り・風味が損なわれにくくなります。
- ※コーヒー豆以外のものまた、湿った豆や生豆を入れないでください。
- ※コーヒー豆がうまく挽けなかったり、多少残る場合があります。

5 挽き終わったら、電源プラグをコンセントから抜く

※カッターの回転が完全に停止したことを確認してください。

6 フタを取り外し、コーヒー粉を取り出す

- コーヒー粉を市販品のフィルターに移しかえ、ドリップしてお召上がりください。
- ※フタを取り外すときは、フタに付着した粉が落ちることがあります。フタを取り外す前に、フタを軽くたたき、粉を落としてください。
- ※コーヒー粉を豆容器から取り出すときは、カッターに直接手で触れないようにご注意ください。
- ※コーヒー粉は早めに使い切ってください。残ったコーヒー粉は、密封容器に入れて、冷暗所に保管してください。
- ※使用後はお手入れを行ってください。(P10ページ参照)



※スイッチ部にコーヒー粉が入らないように、スイッチを上にして、取り出してください。



ご注意

- お手入れを行うときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- お手入れの際は、金属製のたわしや、シンナー・ベンジン・漂白剤・研磨剤入り洗剤などを使わないでください。
- 使用後は早めにお手入れしてください。付着物が乾燥すると、汚れが落ちにくくなります。
- カッターは、直接手で触れないでください。
- 食器洗い乾燥機、食器乾燥器は使用しないでください。
- 本体に水をかけたり、水につけたりしないでください。感電・故障の原因となります。

本体・電源プラグ

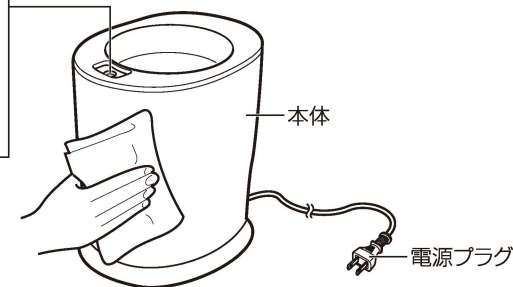
水洗いできません

- 本体は、水を含ませた柔らかい布をかたくしぼって拭いてから、乾いた布で拭いてください。汚れが落ちにくいときは、水でうすめた台所用中性洗剤を含ませた柔らかい布をかたくしぼって拭いたあと、洗剤を拭きとってください。
- ※シンナー・ベンジン・漂白剤・研磨剤入り洗剤などは使わないでください。
- 電源プラグは、乾いた布でホコリ、汚れを拭きとってください。ホコリがたまると、火災の原因となります。



スイッチ

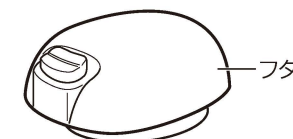
※スイッチ周辺のお手入れは、スイッチ部にコーヒー粉が入らないように注意してお手入れを行ってください。
(P11ページ参照)



フタ

水洗いできません

- フタは、水を含ませた柔らかい布をかたくしぼって拭いてから、乾いた布で拭いてください。汚れが落ちにくいときは、水でうすめた台所用中性洗剤を含ませた柔らかい布をかたくしぼって拭いたあと、洗剤を拭きとってください。
- ※シンナー・ベンジン・漂白剤・研磨剤入り洗剤などは使わないでください。



お手入れのしかた

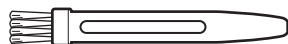
豆容器・カッター

水洗いできません

- 豆容器やカッターに付着したコーヒー粉や汚れは、付属のお手入れ用ブラシで取り除いてください。汚れがたまると、故障の原因となります。
- カッターは、直接手で触れないでください。
- スイッチ部にコーヒー粉が入らないように注意してお手入れを行ってください。



※カッターは取り外しできません。



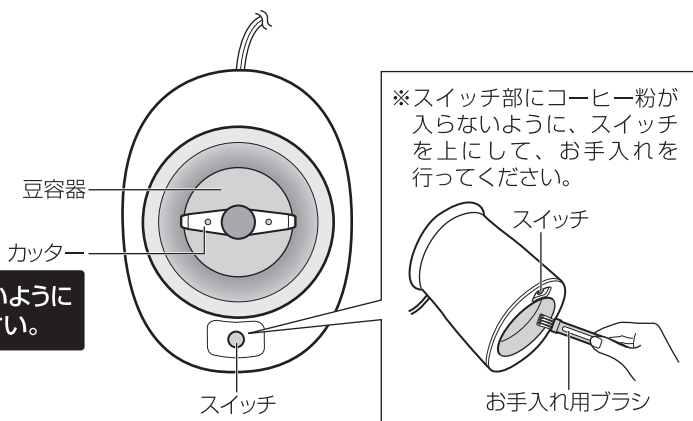
お手入れ用ブラシ(付属品)

警告



接触禁止

- カッターは鋭利なため、直接手を触れないけがの原因となります。



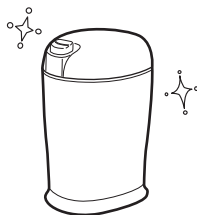
※スイッチ部にコーヒー粉が入らないように、スイッチを上にして、お手入れを行ってください。

手を切らないようにご注意ください。

保管のしかた

- 保管するときは、必ずお手入れを行い、よく乾かしてください。
- お手入れを行ったあとは、梱包箱に収納するかポリ袋に入れ、直射日光や湿気を避けて保管してください。

※湿ったまま保管すると、カビの発生や異臭・故障の原因となります。



故障かな?と思ったら


修理を依頼される前に、次のことをご確認ください。

症状	確認してください	処置の方法 参照ページ
運転しない スイッチが入らない	電源プラグが抜けていませんか?	電源プラグをコンセントに確実にさし込んでください。 8
	フタが本体に正しく取り付けられていますか?	フタを本体に正しく確実に取り付けてください。 8
	コーヒー豆やコーヒー粉が引っかかっていますか?	お手入れをしてください。 10・11
運転中に止まる 振動が大きい カッターの回転が遅く モーターがうるような音がする	コーヒー豆以外のものや湿った豆、生豆を入れていませんか?	焙煎(ロースト)されたコーヒー豆をご使用ください。 9
	コーヒー豆を入れすぎていませんか?	コーヒー豆を減らしてください。 8・9
コーヒー粉がもれる	フタが本体に正しく取り付けられていますか?	フタを本体に正しく確実に取り付けてください。 8
	コーヒー豆を入れすぎていませんか?	コーヒー豆を減らしてください。 8・9
空回りする	コーヒー豆を入れすぎていませんか?	コーヒー豆を減らしてください。 8・9
	コーヒー豆やコーヒー粉が引っかかっていますか?	お手入れをしてください。 10・11

※豆容器内のコーヒー豆を減らしたり、取り出したりするときや、引っかかっているコーヒー豆やコーヒー粉を取り除くときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行う。

点検後、異常がある場合は、ご自分で修理しないでお買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にご相談ください。詳しくは、14ページの「修理サービスについて」をご参照ください。

修理サービスについて

愛情点検		長年ご使用のコーヒーマルの点検を！	
	こんな症状はありませんか	<ul style="list-style-type: none"> ●本体が変形したり、異常に熱い。 ●電源コードや電源プラグが変形・変色・損傷している。 ●電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い。 ●電源プラグや電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。 ●異常なおいや音、振動がする。 ●ビリビリと電気を感じる。 	使用を中止してください。 故障や事故防止のため、電源プラグを抜いて、必ずお買上げの販売店に点検をご相談ください。
	こんなことはありませんか	電源プラグにホコリやゴミがたまっている。	ホコリやゴミを取り除いてください。

仕様

品番	YCM-G30H1		
定格電圧	100V 50-60Hz	消費電力	150W
定格時間	連続60秒（1分） 定格運転後120秒（2分間）休止運転／停止を5回くり返した場合 30分以上休止が必要		
1分当たり回転数	約 30000回／分	電源コードの長さ	約 1.1m
質量	約 650g	ミル容量	30g
外形寸法	（約）幅 112 × 奥行き 85 × 高さ 167 (mm)		
付属品	お手入れ用ブラシ		

※仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。
 ※この製品は、海外ではご使用になれません。FOR USE IN JAPAN ONLY

(1) 保証書

- この製品には、保証書がついています。保証書は、お買上げの販売店で「販売店名・お買上げ日」等の記入をご確認のうえ、内容をよくお読みのと、大切に保管してください。なお、製品の修理以外の保証はいたしかねます。保証期間は、お買上げ日より本体 1 年間です。

(2) 修理を依頼される時

- 保証期間中は内部機構をさわらずに（保証期間外の場合でも内部はさわらないでください）お買上げの販売店に修理をご依頼ください。保証書の記載内容により修理いたします。保証書のご提示なき場合、有料修理となることがあります。
- 保証期間が過ぎているときはお買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

(3) 補修用性能部品の保有期間

このコーヒーマルの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打切後6年です。

(4) ご使用中ふだんと変わった状態になりましたら、ただちにご使用を中止し、お買上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。

- お客様ご自身での分解・修理は危険です。修理には特殊な技術が必要です。

(5) 修理サービスについてご不明な場合

- 修理サービスや製品についてのご相談は、お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にお問い合わせください。
- ご転居やご贈答品等でお困りの場合は、株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にお問い合わせください。

株式会社ヤマダホールディングス

お客様相談室や保証書におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

- お客様相談室でお受けした個人情報、保証書にご記入いただいた個人情報は、商品、サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために株式会社ヤマダホールディングスおよび関係会社で上記個人情報を利用することがあります。
- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては株式会社ヤマダホールディングスと同等の個人情報保護を行わせると共に、適切な管理・監督をいたします。